

▶ 冬の都内巡検は12月8日 ◀ 「印刷博物館と小石川後楽園」を開催します

平成30年度の冬の都内巡検は「印刷博物館と小石川後楽園」を開催いたします。

開催日：2018年12月8日（土）

案内者：未定

集合：10時、東京メトロ「江戸川橋駅」1a出口地上

参加費：1,000円*（予定、入館料含む。昼食各自負担）

*65歳以上の方は印刷博物館は無料、小石川後楽園も割引となるため、年齢の確認できる証明書（運転免許証

など）をご用意下さい。参加費が安くなります。

ルート：江戸川橋～印刷博物館見学～飯田橋（昼食）～小石川後楽園～午後3時頃解散。

印刷博物館は10月20日～1月20日、企画展示「天文学と印刷 新たな世界像を求めて」を開催中。

※11月に予定しておりました「高萩と長久保赤水」バス巡検は延期となりました。開催は来年2月以降のICICニュースか当財団ホームページをご覧ください。



スマホでの行事参加希望は上の二次元バーコードからどうぞ。

展覧会情報

地図に映る明治の日本

期日 11月1日～11月7日

場所 千代田区役所1階区民ホール（千代田区）

調布玉川惣画図を歩く ともめしの多摩名所案内 ～多摩市立図書館コレクションから～（歴史ミュージアム）

期間 ～11月13日

会場 パルテノン多摩（多摩市）

電話 042-375-1414

G空間EXPO2018

期間 11月15日～17日

会場 日本科学未来館（江東区）

古地図で楽しむ伊予

期日 ～11月25日

場所 愛媛県歴史文化博物館（西予市）

電話 0894-62-6222

江戸から東京へ～江戸城無血開城から東京の新たな幕開け～

期間 ～12月2日

会場 日比谷図書文化館（千代田区）

電話 03-3502-3340

大♡地図展—古地図と浮世絵

期日 ～1月14日

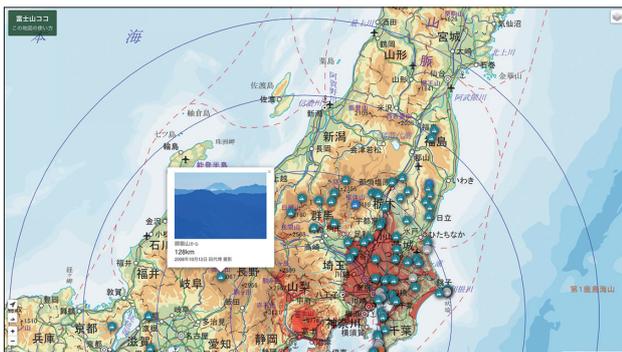
場所 東洋文庫ミュージアム（文京区）

電話 03-3942-0280

mini地図NEWS

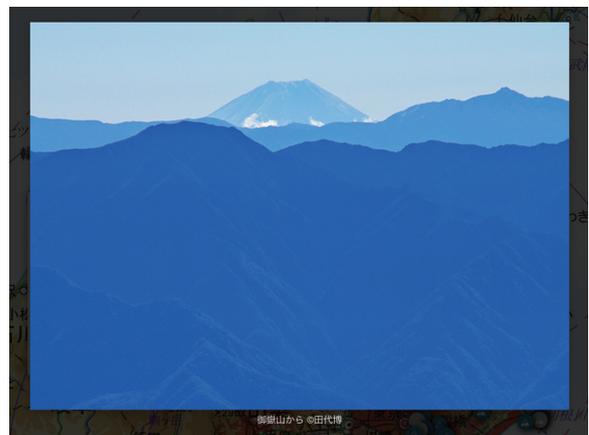
▶富士山どこから見える？

富士山が見える地域を地図上に表示したサイト「富士山ココ」を日本地図センターが公開した (<https://info.jmc.or.jp/fujisankoko/#7/35.361/138.727>)。



「富士山ココ」の画面。御嶽山をクリック。

表示された地図で赤く塗られた地域から富士山が見える。また、同センター相談役で当地図情報センター評議員の田代博氏などが撮影した富士山の写真も多数掲載されている。撮影地点から富士山までの距離も表示される。



写真を拡大できる。御嶽山から、2008年10月田代博氏撮影

■近代地図(陸地)年表

地図情報147号特集「近代地図事始め」の年代をわかりやすくするため年表を作ってみました。間違いや不足部分、矛盾点もあると思いますが、ぜひご指摘下さい。なお、各年内容枠内の順番は不同です。

年	内容
1856 (安政3)	蕃書調所発足
1863 (文久3)	蕃書調所は開成所に改称 薩英戦争
1867 (慶応3)	大政奉還 第1次フランス軍事顧問団招聘
1868 (M元)	戊辰戦争(～69)
1869 (M2)	兵部省設置 民部官庶務司戸籍地図掛設置
1870 (M3)	民部官庶務司は民部省地理司に 10月、陸軍兵式を仏式に統一すると布告 普仏戦争(～71)(フランス、プロイセン)
1871 (M4)	廃藩置県、太政官制改正 兵部省陸軍部参謀局間諜隊、兵部省海軍部水路部設置 7月、文部省設置 9月、民部省廃止。地籍は大蔵省租税寮地理課に、測量は工部省工学寮測量司に
1872 (M5)	兵部省が廃止され、陸軍省、海軍省が置かれ、陸軍省参謀局間諜隊となる 第2次フランス軍事顧問団(～80) 英国人アクウェン(マクビー)を測量師長として東京府下で三角測量開始 オランダ人ドールンら銚子量水標設置
1873 (M6)	参謀局間諜隊は第六局となる 霊岸島量水標設置、東京湾平均海面決定 11月、内務省発足。内務省地理寮(政界・森林・本課)
1874 (M7)	陸軍士官学校開校(フランス人教官多数)。フランス語訳本を使った教育始まる。 大蔵省地理司、工部省工学寮測量司は移管され、内務省地理寮測量地課となる
1875 (M8)	6月、東京気象台設立(内務省) 日本初の平板測量図習志野原及周辺村落図 千島樺太交換条約
1877 (M10)	内務省地理寮が内務省地理局(地籍・地誌・測量の3課)に 西南戦争 西街道図、熊本近傍図(参謀局、転写石版印刷)
1878 (M11)	参謀局が陸軍省から独立し、参謀本部となり、地図課と測量課が誕生 11月、桂太郎がドイツから帰国。のちに軍制をフランス式からドイツ式に変更。軍政・軍令を分離。 上野公園実測図(1:2500、内務省地理局) 6月、実測東京全図(1:43,000、内務省地誌課) 大日本改正東京全図(1:2400、区分図、西川光穂)
1879 (M12)	10月、校補実測東京全図 12月、大日本府県管轄図(1:864,000、測量課)

年	内容
1880 (M13)	大日本全図(1:864,000、地誌課) 参謀本部が第一軍管地方二万分一迅速測図作成(～86) この頃、参謀局五十分一東京測量原図の開始～1886頃
1881 (M14)	2月、横浜実測図(1:5000、銅版、測量課)、兵庫・神戸実測図(1:5000、銅版、測量課) 清国外交官への地図密売事件(地図機密漏洩事件)。これに係わったフランス式技術を持つ徳川幕府関連地図技術者を追放
1882 (M15)	田坂虎之助ドイツから帰国、のちに全国三角測量計画を提示。ドイツ式三角測量法とベッセル楕円体の採用決定。 長さの単位をメートル法に変更
1883 (M16)	一等三角測量観測が開始 ドイツ式一色線号図式を採用 鹿鳴館閉館
1884 (M17)	陸軍卿大山巖から、三条実実宛に「全国地図調製帰一之儀二付上申」(29)が提出 内務省地理局の大三角測量業務を陸軍省参謀本部地理局に移管(測量機関の統一) 輯製二十万分一図開始 第3次フランス軍事顧問団(～89)
1885 (M18)	ドイツ陸軍参謀メッケル招聘 二万分一正式地形図作成開始(参謀本部) 五十分一東京実測全図完成
1886 (M19)	五十分一東京実測全図出版
1887 (M20)	地図払下取扱手続により民間人への地図払い下げ開始 8月、五十分一東京図(モノクロ、銅版)発行
1888 (M21)	5月、陸軍省参謀本部直属の陸地測量部設置。初代測量部長小菅智淵。陸地測量部は昭和20年まで続く。 大阪実測全図(1:5000、銅版、図籍課) 五十分一東京実測全図全図幅出版
1889 (M22)	2月、大日本帝国憲法発布 大日本帝国憲法における統帥権の独立
1890 (M23)	8月、地形図類の縮尺変更決定 このころ写真亜鉛製版の確立 地図を元売り捌ぎ制度に変更
1891 (M24)	内務省地理局廃止、中央気象台に発展 参謀本部前庭に日本水準原点設置 石版地図の製作が中止
1892 (M25)	二十万分一帝国図完成 五十分一地形図作成開始 東京天文台に日本経緯度原点設置
1895 (M28)	4月、気象事業が内務省から文部省に移管 五十分一東京実測図が東京郵便電信局に版權移管
1907 (M40)	柴崎芳太郎など、劔岳周辺に三等三角点設置(埋設できず四等三角点の扱い)

赤字: 社会の動き、青地: 地図作成機関、緑字: 地図名、Mは明治
(主な参考文献)

・内務省地理局「東京実測全図」について 地図6-3 1968 清水靖夫
・陸軍参謀本部地図課・測量課の事蹟 地図29-1 1991 佐藤洗
・地図作りを支えた技術者たちの道-地図作成人物150/2年史- 山岡光治